

フジタの“高”環境づくり

フジタの企業理念は、「自然を 社会を 街を そして人の心を 豊かにするために フジタは たゆまず働く」です。この理念をステークホルダーの皆さまの信頼を得ながら実践していくための基本姿勢が企業行動憲章です。また建設業の基軸である安全・品質を含めて、安全・品質・環境マネジメント方針に示す取り組み姿勢のもと、マネジメントシステムを日々運用しています。当社のスローガンである「“高”環境づくり」は、これらの方針を包含したもので、「顧客に必要とされる会社」を目指すフジタのCSRを表現しています。自然に、社会に、街に、そして人の心に、より高い価値を創造し提供し続けること。それがフジタの“高”環境づくりです。



Top Message

「誰一人取り残されない サステナブルな社会、 会社」をつくるために

代表取締役社長

奥村 洋治

■ 我々を取り巻く事業環境

社会情勢の不連続な変化は複雑さを増し、将来の不透明感は強く続いています。建設産業においても物価高騰による建設コスト上昇の影響、労働力確保や労働環境改善などの構造的課題への対処、脱炭素社会に向けた環境負荷軽減などへの創造的な問題解決が求められています。

このような事業環境下において、企業には変化への適応力とレジリエンスがより一層求められており、「地球と未来のためのESG経営」および「抜本的な建設ビジネスの変革」を加速させる必要性を強く認識しています。

■ グリーン・トランスフォーメーション(GX)への取り組み

環境課題の解決に向け、「事業活動からのCO₂排出ゼロ」、「脱炭素に貢献する事業の推進」、「新たな環境価値の創出」の3つを柱としたGXを推進しています。

昨年度は、CDP(企業などの環境情報開示のための世界的システムを有する非営利団体)の「気候変動Aリスト」に選定されました。これは気候変動分野の透明性とパフォーマンスにおけるリーダーシップが認められた企業に与えられるもので、当社が推し進めている取り組みが評価されたものです。

このほかにも低炭素コンクリートの研究開発、太陽光・水力・バイオマス等の再生エネルギーの事業展開、当社独自のプライムカーボン技術を活かした自然共生・資源循環へのチャレンジなどを着実に進めており、脱炭素社会の実現に向け今後もGXを推進していきます。

■ 建設業2024年問題への取り組み

本年4月より建設業にも適用された「時間外労働の上限規制」は、建設業界全体が乗り越えなければならない重要な課題と捉えています。

当社は、2023年度を準備期間と位置づけ十分な対策を行ってきました。デジタルテクノロジーを活用した効率化、作業所職員の業務支援を行う作業所サポート推進体制の構築、意識変革を含めた個人単位の労働時間管理の厳格化と組織・チームでのフォローなど、各種の施策により労働時間は確実に減少してきています。

作業所においては労働時間の観点だけでなく、労働環境の改善がまだ必要な状況ではありますが、安全第一での作業所運営、施工生産性の継続的向上、適正工期での受注等へ引き続き取り組み、協力会社の皆さまとも連携し魅力ある建設業、作業所を創り出していきます。

■ デジタル・トランスフォーメーション(DX)への取り組み

デジタルテクノロジーの進化は、大きく経験工学に依存している現在の建設プロセス、建設サプライチェーンを大きく変えるものと捉え、当社では、すでにBIMを基軸としたエンドツーエンドの建設プロセスへの変革を目指し取り組みを進めています。また、ここにユニット化・モジュール化の手法を取り入れた工場生産を行う「オフサイト建設」を組み合わせることで、さらに大幅な生産性向上と、建設産業が抱える構造的な課題を解決できるものと考えています。

我々が描く新たな建設ビジネスを実現するためには、既存の枠組み、業務手順などを再定義していくことが不可欠であり、必要となるスキルや、インフラ基盤も変化していきます。

その変化に対応するため、2023年度は社内研修や資格制度を整備し、複数のパイロットプロジェクトにおいて課題抽出、改善を進めるとともに、オフサイト建設へのプランニングも進めてきました。引き続きハード、ソフト両面からのDXへの取り組みを強力に推進し、変革を加速させていきます。

■ ステークホルダーの皆さまへのメッセージ

社長を委員長として、全社の環境・社会の分野の取り組みを統括する「サステナビリティ委員会」を2023年度に設置しました。この組織を中心に、「脱炭素」「災害・防災」「自然資本」「労働・健康」などのESG課題の解決に向けた取り組みを着実に進めています。

我々は、人とデジタルテクノロジーを融合し、GXの視点を大胆に組みこんだ、新たな建設ビジネスプロセスを生み出し、磨き続けていきます。そして、これを実現していくことが、従業員のエンゲージメント向上にもつながると確信しています。

大和ハウスグループが目指す“将来の夢”を実現するとともに、「誰一人取り残されないサステナブルな社会、会社」をつくるためにこれからも変革へ向けたチャレンジを続けてまいります。